

令和8年

第4回仙北市議会定例会

市 政 報 告

仙 北 市

令和8年第4回仙北市議会定例会 市政報告

令和8年第4回仙北市議会定例会の開会にあたり、主要事項についてご報告します。

はじめに、4月30日現在の人口は2万2,024人で前年同月比591人減、世帯数は1万131世帯で前年同月比110世帯減となっております。今年度4月の出生届出数は5人となっております。前年同時期の出生届出数は5人で同数という状況です。また、4月の転入は52人、転出は49人で3人増となっております。

次に、行財政改革についてです。

5月1日から5月20日まで、市民3千人を対象に市民意識調査を実施しました。現在、集計及び分析作業を進めておりますが、この調査結果は、市民の皆さまの意識や行動、施策に対する評価を把握し、今後の施策立案や事業展開に活用するための重要な基礎資料となるものです。

また、新たに策定した第3次仙北市総合計画に基づき、事務事業評価及び施策評価についても順次実施し、次年度以降の予算編成や施策の見直しに反映させてまいります。

今後も、幸福度全国 No.1 のまちづくりをより一層推進するため、行財政改革を着実に進め、結果と成果を重視した市政運営に努めてまいります。

次に、一般会計補正予算(第3号)についてです。

補正額は、1億6,664万5千円の追加で、補正後の額は228億2,337万9千円です。主な補正事業は、テレビ回覧板事業費、女性デ

デジタル人材活躍推進事業費、水道事業会計補助金、農山村オンラインビジネス創出事業費補助金、農業経営等復旧・継続支援対策事業費補助金(令和7年度雪害)などです。債務負担行為補正は追加、地方債補正は、追加及び変更です。

それでは、各部局等の主要事項及び諸般の状況を報告します。

【企画部】

◇ふるさと納税について

今年度のふるさと納税につきましては、5月末現在の寄附件数が8,403件で前年同月比177.1%、寄附額は3億8,500万円で前年同月比115.4%となっており、件数、寄附額ともに前年を上回る状況で推移しております。多くの皆さまからの温かいご支援に改めて感謝申し上げます。

今後も、返礼品を取り巻く価格動向や確保環境、制度改正の動向などを注視しながら、返礼品事業者との連携を密にし、魅力ある返礼品の創出や情報発信に努め、より多くの皆さまから仙北市を応援していただけるよう取り組んでまいります。

◇姉妹都市交流等について

4月18日、19日、「角館の桜まつり」会場での姉妹都市・交流都市物産展を開催しました。姉妹都市の長崎県大村市、連携交流提携都市の茨城県常陸太田市、秋田市の特産品販売を行い、全国から集まる観光客のみなさまに楽しんでいただきました。

また、5月30日から6月1日までの3日間、長崎県大村市の「おおむら花菖蒲まつり」に合わせて大村公園で開催された姉妹都市・友好交

流都市物産展で、仙北市の特産品販売を行ったほか、角館おやま囃子を披露し、盛況となりました。

8月には、大村市にある濱田謹吾像の建立40周年式典が予定されておりますので、ご縁を大切にして関係市との交流を引き続き積極的に行っていきたいと考えております。

【観光文化スポーツ部】

◇全国伝統的建造物群保存地区協議会総会・研修会について

5月14日、15日の両日、新潟県佐渡市で開催された「第48回全国伝統的建造物群保存地区協議会総会・研修会」に出席しました。14日に開催された本協議会の総会には、首長や行政担当者、住民組織など全国から250名を超える参加があり、記念講演や首長サミットが行われました。

15日には、佐渡市^{しゆくねぎ}宿根木伝統的建造物群保存地区と^{おぎまち}小木町伝統的建造物群保存地区の現地視察と住民プログラムに参加しました。現地視察では、次世代の担い手である地元小中学生のガイドがあり、将来につながる取組として大変参考になりました。引き続き、伝建協副会長都市として、伝建地区の保存と活用に努めてまいります。

◇秋田駒ヶ岳山開きについて

6月1日、秋田駒ヶ岳の山開きが開催され、関係者や一般登山者などがシーズン中の無事故を祈願しました。

当日は天候にも恵まれ、雫石町・仙北市で行われた山頂交歓会では、仙北市側からは約70人、雫石町側からは約30人が参加し、ピッケルを交換するなど夏山シーズンの開幕を祝いました。

【農林商工部】

◇土地改良事業について

農地集積加速化基盤整備事業については、神代地区の^{かんち}換地作成業務と^{とうしゅこう}頭首工2箇所^の改修工事を進めており、令和9年度の完了を目指します。

農地中間管理機構関連ほ場整備事業については、引き続き中川地区では^{あんきよ}暗渠排水工事を、また^{おおせぞうの}大瀬蔵野地区では面工事及び暗渠排水工事を進めてまいります。

ため池等整備事業では、幹線用水路の老朽化に対応するため、田沢湖^{わかまつぜき}若松堰土地改良区管内において、かんがい排水事業による改修工事を引き続き実施し、令和11年度完了を目指します。

これらの事業は、今後も国への要望活動などを行いながら、着実に推進してまいります。

◇まるっと秋田博 2026 について

5月30日、31日、秋田市を会場に「まるっと秋田博2026」が開催されました。オープニングイベントには^{すずきけんた}鈴木健太秋田県知事をはじめ県内市町村長が出席し、会場を盛り上げました。

伝統芸能演舞ステージでは「角館祭りのやま行事」が出演し、お囃子、手踊りが披露され、来場された方々にその魅力を伝えました。また、「上桧木内の紙風船上げ」の願いごと書きや市町村観光物産PRコーナーも設けられ、県内各地の食や伝統芸能が楽しめる賑やかな会場となりました。

【建設部】

◇令和8年度国庫補助事業について

令和8年度の国土交通省道路局所管の国庫補助事業について、市道等の整備を行う「社会資本整備総合交付金事業」は、国費要望額に対しての内示率は41.9%で、国費額で8,212万2千円の内示が

ありました。

既存の橋梁補修をメインとした「道路メンテナンス補助事業」は、昨年同様に国費要望額の満額、1億6,997万1千円の内示となりました。今後も引き続き道路整備予算確保のため要望していきます。

◇国道整備促進期成同盟会について

5月22日、グランデールガーデンを会場に、両同盟会会長として国道46号「高規格道路」盛岡秋田道路整備促進期成同盟会と大曲鷹巣道路整備促進期成同盟会の合同総会を開催しました。総会には高橋豪^{はしごう}県議、小山緑郎^{おやまろくろう}県議をはじめとして、武藤議長、中村総務産業常任委員長から出席していただきました。

大曲鷹巣道路は秋田県の縦軸となる国道105号、国道46号盛岡秋田道路は岩手県と秋田県の県都を結ぶ秋田県の横軸で、いずれも地域の発展に大きく寄与する重要な道路です。

今後も関係自治体と連携し、要望活動など、国道整備促進に向けた取り組みを強力に進めます。

議会の皆様の特段の御理解と御協力をよろしくお願いいたします。

以上、主要事項及び諸般の報告を申し上げます。本定例会に提案している案件は、報告関係7件、条例関係3件、予算関係4件、その他3件、人事案件2件の計19件です。

慎重審議の上、ご可決を賜りますようお願い申し上げます、市政報告とします。